

奈良市 協働のQ&A

vol.29

協働とは、行政だけが進めようとしてもうまくいくものではありませんが、相手が協働することに興味がなかったり、そもそも協働について意識をしたことがない場合はどうすればいいのでしょうか。今回は市民や市民公益活動団体等、協働の相手に向けての働きかけについて考えてみましょう。



Q55

市民や市民公益活動団体等に協力してもらうために、協働事業をどんな方法でPRすればいいの？

Q56

市民や市民公益活動団体等に協働の意識を持ってもらうにはどうすればいいの？

A55

協働事業をPRするには、まずホームページやしみんだより、ツイッターなどの市の広報手段を使って、事業の内容を伝えていくといいよ。それに併せて、その事業に関心の深そうな市民や市民公益活動団体、事業者等に対して説明会や意見交換会等を開催して事業を詳しく説明したり、広報ちらしを配布するなどでPRすることも大切だよ。また、情報を発信して相手を待っているだけではなく、自ら情報を集め、協力者を探していくことが必要なんだよ。

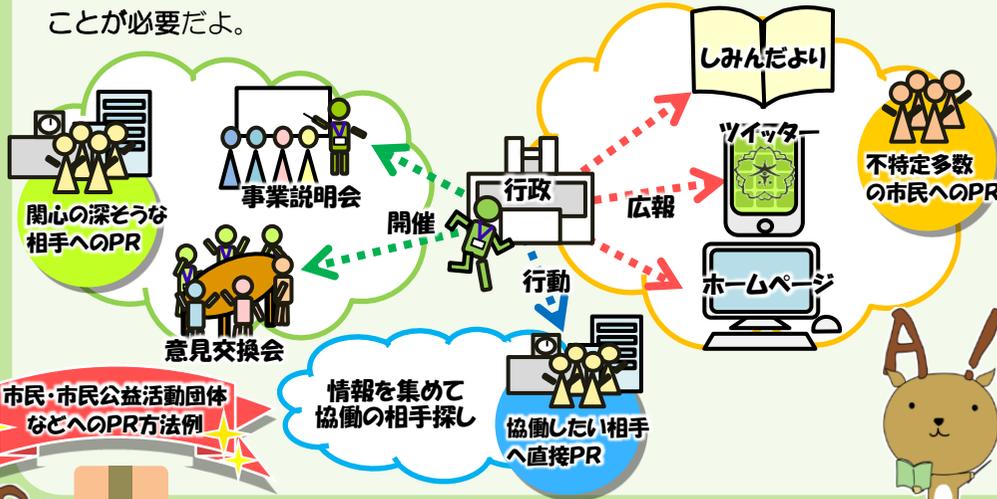
説明会などで事業の説明を行うときは、その協働事業に市民や市民公益活動団体や企業の方々の力がどのように必要とされているのか、具体的な例を挙げながら説明していく。より多くの方の理解や協力を得るためには、事業のねらいや成果・評価も合わせて示し、誰が見ても理解できるものであることが必要だよ。

A56

協働の相手となる市民や団体に協働の意識を持ってもらうためには、奈良市の取り組みや奈良市を取り巻く課題の解決に、市民や団体や地域の力が必要であることを伝えていく必要があるんだよ。各部署が取り組んでいる施策の状況や、力を合わせて解決すべき課題の情報を、わかりやすく公開していく。

また、これまでに市民や団体と協働して成功した例を紹介して、市民や団体の協働へのモチベーションをあげることや、市民や団体の興味を持ちやすい分野などから重点的にPRするなどの工夫も有効だよ。

ただし、これらは市から市民や団体に一方的に発信して押し付けるのではなく、対等な立場での対話によって共感してもらう必要があるんだ。そのため、職員が自ら市民の輪の中に参加したり、市民公益活動団体の活動に参加して、直接話をしていくことが重要なんだよ。



いろいろな方法があるけど、一方的に広報やPRするだけじゃなくて、相手に直接連絡を取るとか、積極的に働きかけていくことも必要なんだね！

NEXT!

Q57 市民や市民公益活動団体等、協働の相手のための研修等って実施されてるの？…これから協働していく相手が、協働について学ぶ機会ってあるの？

